

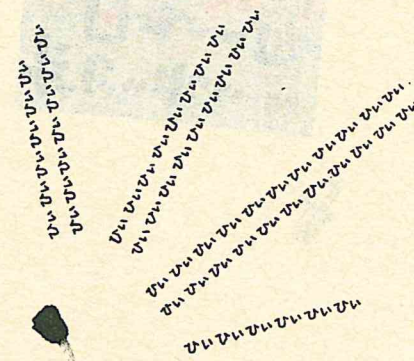
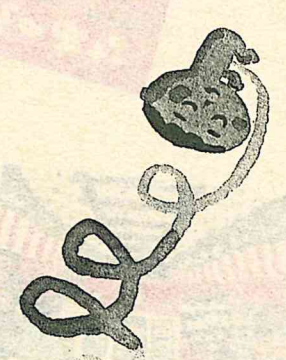
長谷川義史さんは、1961年、大阪府藤井寺市に生まれました。
小さい頃からまわりの事柄や人物などに興味を持ち、よく観察しては絵を
描いて、だれかに見せては反応を楽しむという子どもだったようです。

長谷川さんの絵本に登場する題材は、ごく身近にいる家族、赤ちゃんから
じいちゃんやばあちゃん、近所のおじさんやおばさんやともだちなど、日常
のどれもが経験するごく身近なできごとの中に、心にほっと灯りをともして
くれるような言葉や情景が描かれます。便利な生活を得た現代にあって、そ
れによって失われつつある人と人が直に関わり合っただけの暮らしの生活の
大切なこと。宇宙や地球、自然や人間の進化の歴史、誕生から死、過去から
未来までを物語の中に展開させ、おおらかなユーモアで、懐深くつつみこん
でくれるような、おおきな愛を感じさせる長谷川義史の絵本世界です。

絵本『てんごくのおとうちゃん』は、長谷川さんが小学1年生の時に39才
で亡くなったお父さんへささげる息子からのメッセージ（贈り物）。
子どもは、意外に現実を自然に受け止め、「天国のおとうちゃん、僕たち大
丈夫だからね」と、前向きに生きていくもの。長谷川さんは、
「死んじゃったらあかんねんで、生きていることがいいんや。生きたいと思
っているのに運命で死んじゃうこともあるんだから、生きているっていうこ
とはほんまにありがたいことやねんで」と、伝えたいという。
人の失敗も「いいから いいから」って、おおらかに受け止めてもらって、
いつのまにか元気をもらっている。

本展では、この作品の他、絵本デビュー作、『おじいちゃんのおじいちゃん
のおじいちゃんのおじいちゃん』や、『いいから いいから』、『おへそのあな』、
『だじゃれ日本一周』、『おかあちゃんがつくったる』の6冊の絵本の原画を
展示いたします。

木城えほんの郷では、「いいから いいから 長谷川義史の世界展」を開催中
のこの秋、9月14日（日）、「長谷川義史絵本ライブ」を開催します。
ウクレレの弾き語りの歌と絵本の読み語りによる、長谷川ワールドのライ
ブの空間をおたのしみください。



長谷川義史プロフィール

1961年 大阪府藤井寺市生まれ。
グラフィックデザイナーからイラストレーターへ。
現在は絵本作家として、ユーモラスでおおらかな長谷川ワールドを次々と
生み出す。

- 『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』(BL出版)
で絵本デビュー。
- 『うへまいるまです』(PHP 研究所)。
- 『やまださんちのてんきよほう』(絵本館)。
- 『きみたちきょうからともだちだ』(桐北社)。
- 『おへそのあな』(BL出版)。
- 『どこどこどこ』(ひかりのくに)。
- 『おたすけてんぐ』(教育画劇)。
- 『スモウマン』(講談社)
- 『がまの油』(ほるぶ出版)などユーモアあふれる作品を多数発表。
- 『おたまさんのおかいさん』(解放出版社)で、第34回講談社出版文化賞
絵本賞受賞。
- 『かあちゃんかいじゅう』(ひかりのくに)で、第14回けんぶち絵本の里大賞
を受賞。
- 『ぼくがラーメンたべてるとき』(教育画劇)で、日本絵本賞と第57回小学
館児童出版文化賞を受賞。
- 『いいからいいから3』(絵本館)で第19回けんぶち絵本の里大賞受賞。

